

Contest

【過去の結果発表】

2008年変奏曲作品作曲コンテスト 結果発表

コンテストへの沢山のご応募ありがとうございました。

コンテストへの沢山のご応募ありがとうございました。今回のカテゴリー B は、「ぶんぶんぶん蜂がとぶ」「ねこふんじゃった」の2種類から選択していただいた曲を主題に、変奏曲に作曲していただきました。今回も、たくさんの方々がご応募くださり、一次審査を4名の方が通過されました。各主題からそれぞれの入選作品が選出され、お二人が入選されました。おめでとうございます。後日、入選作品は出版されますので、皆さん楽しみにお待ちください。また、現在、オリジナル作品作曲コンテストも開催中です。5/31が締切ですので、今回惜しくも入選をのがしてしまった皆さんも是非、挑戦してみてください。

入選作品 01：みつばち王国のおまつり（作曲：矢吹雄介）

試聴は→[こちら](#)

入選作品 02：ある日のおいら ～ねこふんじゃった変奏曲～（作曲：荻原和音）

試聴は→[こちら](#)

【入選作品 01 コメントとプロフィール】

■楽曲について

原曲をきいて印象に残るのは、やっぱり冒頭の「ぶんぶんぶん」でしょう。曲中にこの「ぶんぶんぶん」を何度も使って、にぎやかさを演出することをねらいました。また、「ぶんぶんぶん」のところで、「おいけのまわりに…」のところの対比を意識しながら曲の構成を考えていきました。演奏にあたっては、児童文学のような世界をイメージして、明るく楽しく表現してください。

■プロフィール 矢吹雄介（やぶき ゆうすけ）

1981年生まれ。滋賀県在住。中学から吹奏楽部等でトランペットを吹く。作曲は独学。

【入選作品 02 コメントとプロフィール】

■楽曲について

「ねこふんじゃった」のテーマを変奏、展開させて、わかりにくいところもありますが全パートにちりばめています。この曲は、1匹のお調子者のノラ猫の物語です。全体的に明るく面白くというコンセプトで作りました。その日その日で気の向くままに騒いでみたり、いたずらしてみたり、喧嘩してみたり、恋してみたり…。たまには落ち込むことだってあるけれど、明日にはすっかり忘れて朝ご飯のことでも考えてしまう。そんな自由で忙しい彼の、ある1日の出来事です。物語を想像していただき、楽しんでいただけたらと思います。

二度の入選・出版という機会をいただき、とても嬉しいです。審査員の方々、そしてこの曲を作曲する上で重要なアドバイスをもらった友人達に心から感謝いたします。

■プロフィール 荻原和音（おぎわら かずね）

幼い頃よりピアノ、ソルフェージュを始め、小学校の吹奏楽部でトランペットに出会い、現在はトランペットを専門に学んでいる。これまでにトランペットを大山紀伯、藤島謙治、津堅直弘の各氏に師事。また、大学に入ってから趣味で編曲を始める。編曲法を丸山和範氏に師事。作曲は独学。現在、国立音楽大学弦管打楽器専攻3年在学中。

【審査員】

三澤 慶（ズーラシアンブラス・クラシック担当音楽監督 トランペット奏者、作曲家、侍 BRASS メンバー、2006年度全日本吹奏楽コンクール課題曲作曲者）

高橋宏樹（ズーラシアンブラス専属作編曲家 03,05年度全日本吹奏楽コンクール課題曲作曲者）

石川亮太（ズーラシアンブラス専属作編曲家）

山口尚人（ズーラシアンブラス スマトラトラお友達プレーヤー、山金シリーズ楽譜編曲者
新日本フィルハーモニー交響楽団副首席トロンボーン奏者）

【総評】

今回も秀作が集まりました。

特に最近の傾向として、作品が二つのパターンに分かれるように感じます。

すなわち…

1. 独創的なアイデアとエンタテインメント性を持ちながら、理論的技術にあと一步欠ける作品。
 2. 和声進行、対位法、アレンジ、全ての音楽的技術に精通していながら、整いすぎていて、面白みに欠ける作品。
- …特に金管作品の場合、エンタテインメント性とアレンジ技術の両面が求められるケースが多く、それだけに、作品の「書き甲斐」のあるジャンルといえます。

金管楽器の体力的問題に配慮した上での、金管特有のハーモニー感のゴージャスさを演出し、なおかつ、聴衆の心をグッと掴むアイデア兼ね備えた…そんな作品を望んで止みません。

次回も素晴らしい作品、楽しみにしています。

(2009.1.30 三澤 慶)